

「Yoshitake村」が完成するまで



企業が社員とのコミュニケーションを促進し、福利厚生の充実や働き方改革につなげることを目指して、4月10日より古民家再生保養所第一号物件のリノベーション工事がスタートしました。約320坪の敷地に建つ、築80年以上の古民家のリノベーションに社員全員が参加し、改修工事をおこないました。

当社は長らく、夢を語り合える保養所を社員全員で作りたいと思っており、淡路島で物件を探していました。洲本市の南で条件のあう古民家が見つかったことから、「淡路島古民家プロジェクト」を社内で立ち上げました。

古民家を保養所として再生する「Yoshitake村」の工事を紹介したいと思います。

解体前の様子



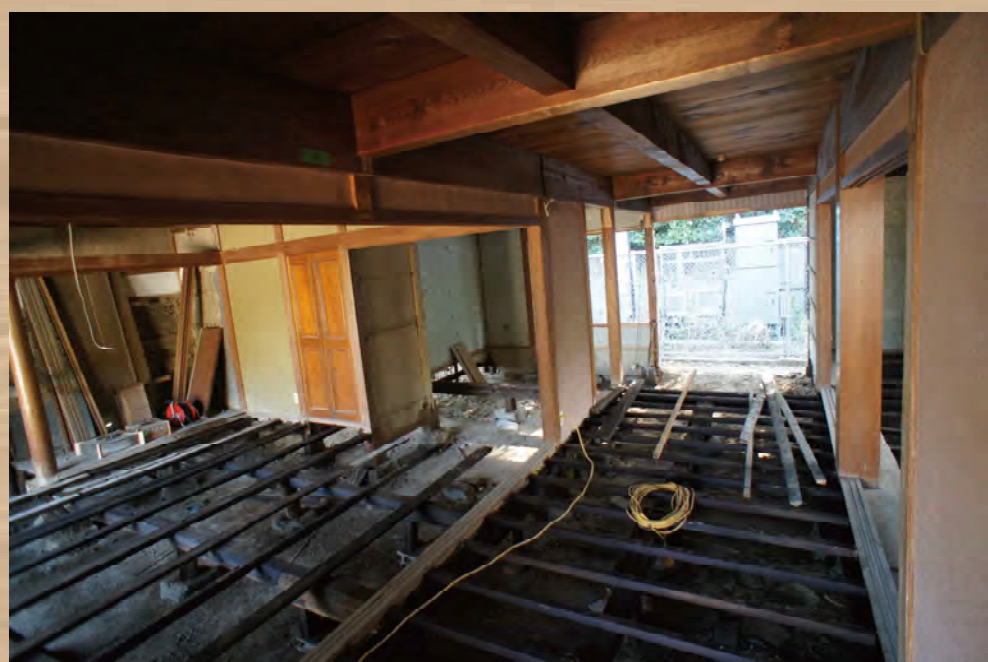
約13年間空き家だったこともあり、庭は草木に覆われてしまっていました。室内も以前住まれてた方が使用していた机や布団、食器などがそのまま残っている状態でした。また、空いている窓から動物や虫が入り込み、土足でないと歩くことができない状態でした。

「Yoshitake村」が完成するまで

解体工事



室内に残されていた日用品や家具を処分した後、解体工事がスタートしました！築80年以上の建物ということもあり、釘を1本も使用せず柱や梁が組まれていました。貴重な伝統的な技術は残しながら、天井や壁、床の解体を進めていきました。また、敷地内にたくさん生えていた草木も刈りると、改めて敷地の広さを実感することができました。



天井を解体してみると、大きな丸太の一本梁が現れました。80年という月日が経っても、家の屋根をしっかりと支えており、木本来の力強さを感じました。解体後の状態を見てみると、伝統的な技術を使用して組まれているものも多く、大変勉強になりました。白アリで柱が腐食しているところもあり、基礎の補強や柱の入れ替えをするところからのスタートでした。

「Yoshitake村」が完成するまで

造作工事



囲炉裏造作



以前にはなかった囲炉裏を新しく作っています。ブロックを土台にし、しっかりと固定した後、その上に四角い枠を組みました。取付けが難しく、苦戦していましたが、当社職人が知恵を絞って、無事取り付けることができました！



木材加工・取付け

部屋の梁部分の造作をしています。長年の経験を積んだ職人が一つ一つ丁寧に、手作業で材料を加工しています。重量もある梁を取り付ける際には、落さないように慎重に作業をしています。



外壁工事



長年の劣化もあり、住民の方がトタン張りへ貼り替えていました。古民家の風合いが出すためにも、今回焼杉に張り直しました。下地を組み、防水シートを張った後焼杉を張りました。



床板・羽目板張り



床・天井にそれぞれ下地を組み、材料を一枚一枚張っています。床材は表面をウレタン着色した栗の無垢材、羽目板は吉野杉を使用しています。羽目板は塗装せず、木材のそのままの良さを月日が経つことに楽しむことができます。



塗り壁施工・天井塗装

土壁を落とし、場所によって材料を変えて塗り直しています。漆喰・シラス壁を塗り分けました。また、天井や梁などは表面を削った後、深みのある茶色で塗装し、古民家の風合いを出しました。



たんす階段設置



監督が設計したたんす階段を社長と棟梁が設置しています。落下防止の為、階段の横と2階部分に手摺も設置しています。長年の経験を積んだ棟梁のおかげで、難しい設置もスムーズに完了しました。

「Yoshitake村」が完成するまで

Before



after



改修前



改修後



Before



after



廊下

天井はそのまま残し、床は表面をウレタン着色した栗の無垢材に張り替えました。当社監督が設計し、職人が手作りのたんす階段やかざり棚を設置しました。

Before



after



リビング【団居の間】

天井を取り、大きな丸太の一本梁を見せています。床の間部分は解体し、新たに薪ストーブを設置しました。また、今までになかった囲炉裏を新設し、くつろぎながら語り合える空間になりました。最新鋭のスマートホームを取り入れ、呼びかけるとムードに合わせた照明や音楽を設定してくれます。

Before



after



キッチン

もともと和室だった場所の壁を取り、キッチンに変更しました。カウンターテーブルも設置し、料理をしている人と会話をしながら食事を楽しむことができます。夜はSHOT BARに変わり、好みのお酒を楽しむこともできます。

Before



after



和室【安息の間】

天井を取ることで縦の空間が広がり、広々とした空間になりました。土壁を落とし、2種類のクロスを貼っています。また、当社職人が作ったテレビ台が置いてあります。このテレビ台に隠された意味は、現場にて確かめてみて下さい。

「Yoshitake村」が完成するまで

Before



after



洋室【瞑想の間】

もともとキッチンでしたが、寝室へと変更しました。天井を一部取り、部屋の圧迫感をなくしました。自然素材である、吉野杉の羽目板とシラス壁を塗っています。

Before

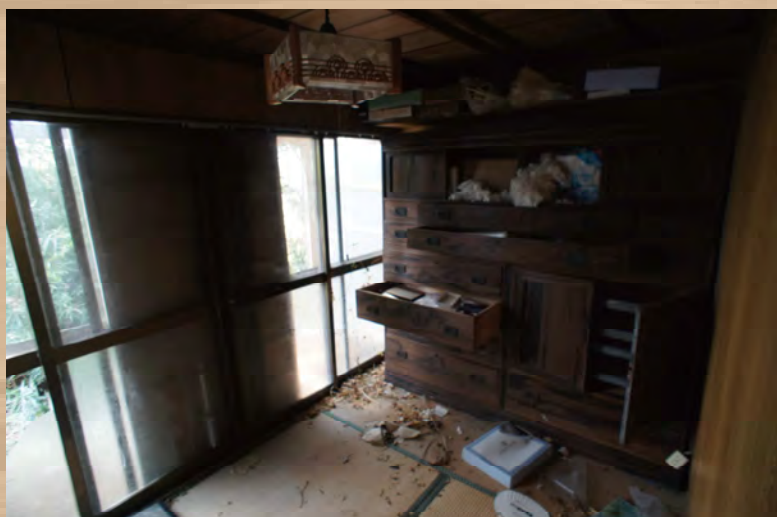


after



洗面脱衣室
浴室・トイレ

もともと和室だった場所を洗面脱衣室、浴室、トイレに変更しました。この場所は木目調の壁紙にし、塗り壁とはまた違った雰囲気になっています。広々としたユニットバスも設置しています。トイレは上部は塗り壁、下部は腰板を塗装しており、リラックスできる空間になっています。



Before



after



露天風呂

草木を刈り、岩を掘り起こした後、ウッドデッキを設置しました。そして、信楽焼の陶器風呂を二つ設置しています。お風呂に浸かりながら、海を一望することができる場所になりました。

4月からスタートした工事。現場近くに賃貸を借りて社員同士での共同生活や、自然災害により現場に残されたり、いけないという事態も発生しました。今までの現場では、起こることのない事態に困惑しましたが、社員同士で知識や知恵を出し合ったからこそ、いいものを創ることができたと思います。

今回の経験をもとに古民家再生保養所を中小企業に提案し、社員とのコミュニケーション促進や、休み方改革を社内で推奨していくことで、中小企業を活性化していきたいです。

